



令和5年4月1日
目黒区立菅刈保育園長

玄関前の桜の花も風に揺れて、子どもたちの新しい生活を見守ってくれています。

今年は22人の卒園児が元気に巣立ち、25人の新入園のお子さんを迎え、新年度が始まりました。

先日、3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラス子どもたちが仲良く散歩に出かけました。行先は少し遠出の世田谷公園です。行きは5歳児と3歳児が手を繋ぎ出発しました。「こっち側歩いて」と危なくないように気をつけながら歩く姿が印象的でした。3クラス合同リレーではどのグループも熱が入り、応援していました。3歳児クラスにとっては初めての遠出で緊張もしていましたが、最後まであきらめずに走る姿に逞しさを感じました。その後はお弁当の時間。5歳児クラスの子でなかなか進まない子がいました。「無理しないで残しても良いんだよ」と伝えると「大丈夫、唐揚げをお父さんが作ってくれたから、残さないで食べる」と言って、他の子は遊び始めていても最後まで残さず食べていました。このお弁当には家族の思いが一杯詰まっていることを感じ取れていることがわかります。他の子も「うちのママもね…」等家族のエピソードを交えた会話を友達と楽しみながら食べていました。家族との繋がりが基盤となり、子どもたち一人ひとりの中にしっかりと人と気持ちを繋げ、思いを共有することの大切さ、そして逞しい力があることを感じました。帰りは4歳児と3歳児が手を繋いで帰りました。「もうすぐ着くよ」と励ましながら、年長さんになる優しさとしなやかさを感じました。今年も保育の中で、保育士や友達と一緒に色々な経験を通し、人と繋がる楽しさを知り、逞しく生きていく力を育てていきたいと思ひます。

新しい環境を迎え、不安な気持ちでいっぱいの子もたちもいると思ひます。園の生活に慣れるまで、しっかりと子どもたちに向き合い、寄り添っていきたく思ひます。



今月の予定



入園説明会

全体保護者会

身体計測 (0・1・2歳児クラス)

身体計測 (3・4・5歳児クラス)

下旬 避難訓練

一年間大切にしていきたいこと

看護師

子どもたちが楽しく園生活が送れるように、健康面・安全面を配慮していきます。

事務所

子どもたちと保護者の方が毎日笑顔で過ごせるような園運営を心がけます。気軽にお声がけください。

給食室

素材の味を大切に、子どもたちが笑顔になれるような給食を作っていきたいと思ひます。

用務

みんなが笑顔で過ごせるような心地よい環境づくりを目指します。

ひろば

地域の親子が笑顔で楽しく遊べる居場所づくりを心掛けていきます。

つぼみ組(0歳児クラス)

保育園での生活が始まります。新しい環境の中で、子どもたちが安心して笑顔で過ごせるように、ゆったりと優しく語り掛け、思いを汲み取りながら安心と心地よさを感じられるようにしていきます。戸外に出て「お花さきれいだね」と一緒に季節を感じたり、スキンシップをしながらふれあい遊びを楽しんだり、遊びや生活を通して、子どもたちと愛着関係を築いていきます。ご家庭と一緒に成長を喜び合いながら楽しい保育園生活を送れるようにしていきます。



すみれ組(1歳児クラス)

新しい環境の中で子どもたちが安心して過ごせるように、まだ言葉にならない思いを汲み取り、寄り添っていくことを大切に、信頼関係を築いていきます。また「自分で」「イヤイヤ」と自己主張する姿を大事にして「～したかったね」と受け止めていきます。大好きな大人と一緒に好きな遊びを見つけたり、体を動かしたり、戸外に出て自然と触れ合う中で“たのしかった”と感じる体験をたくさんし、楽しく保育園生活を送れるようにしていきます。

ひまわり組(2歳児クラス)

部屋の場所や広さ、遊具など生活する環境が変わっても安心して自分の気持ちを表現できるように、保育士が一人ひとりの思いを汲み取り、共感していきます。子どもたちのイメージや、やりたいことを大切にしながら、自分の好きな遊びを満足するまでできるよう関わっていきます。また友達存在に興味を持ち、“この子と同じことをしてみたい”という気持ちが芽生えているので、保育士と一緒に遊び仲立ちすることで“友達と一緒に楽しい”という気持ちが育まれるようにしていきます。



りす組(3歳児クラス)

幼児クラスへ仲間入りし“お兄さんお姉さんになった”という気持ちを持ち、りす組の生活に期待を膨らませています。友達との関わりが広がる中で「～しようよ」「いいよ」と思いが通ることもあれば、「いれて」「だめだよ」と断られ、思いが通らず葛藤することもあります。「～したかったんだよね。何でだめなのか聞いてみようか」「終わったら貸してくれるって言ってたね。ちょっと待ってようね」など、子どもたちの気持ちに共感しながら、友達の思いや周りの状況等に気づき、理解していく姿を大切にしていきます。また、りす組はすぐに園庭に出られる環境なので、午前午後ともに体をたくさん動かして戸外遊びを十分に楽しんでいきたいと思えます。

うさぎ組(4歳児クラス)

子どもたちは「うさぎ組になるんだ」という期待をもって進級しました。友達と一緒にイメージを共有して遊ぶ姿が増えましたが、その分ぶつかり合うことも出てきます。自分の思いだけを主張しても楽しく遊べないこと、相手の思いと折り合いをつけていくことを友達との関わりの中でたくさん経験してほしいと思っています。子どもたち一人ひとりの気持ちの揺らぎや不安な思いに寄り添い、時には背中を押しながら、いつでも思いを受け止めてくれる大人がそばにいるという安心感の中で存分に自己主張と葛藤を繰り返していけるよう関わっていきます。友達との繋がりを深め、お互いのいい所に気づき合える一年にしていきたいと思えます。



きりん組(5歳児クラス)

きりん組に憧れ、心待ちにしていた4月がスタートしました。きりん組になった子どもたちは、一番大きなお兄さんお姉さんとして、心弾ませています。保育園最後の1年間、運動会や子ども会などの様々な行事をはじめ、お米作りや当番活動など、きりん組だからこそできる、活動や経験が増えてきます。その中で、一人ひとりの力を発揮し、達成感や人の役に立つ喜びを感じ、自信に繋がっていきたく思います。また、子どもたちの興味を大切にしながら、友達と一緒に協力して取り組む経験や、仲間の良さを認め合い、仲間の中で育ちあう経験を大事にし、クラスとしての繋がりを深めていく1年にしていきたいと思えます。